RDM LUN を VM に再接続

ONTAP 7-Mode Transition

NetApp
December 19, 2023

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-7mode-transition/san-host/task_removing_stale_rdm_using_vsphere_client.html on December 19, 2023. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

RDM LUN を VM に再接続 1
vSphere Client を使用して古い RDM を削除する 1
vSphere Client を使用した RDM の VM への再接続 2
ESXi CLI / コンソールを使用した RDM の再接続 3

RDM LUN を VM に再接続

Raw デバイスマッピング（ RDM ） LUN に接続されている VM が移行後に機能するためには、 LUN をホストする RDM ディスクを VM から削除する必要があります。その後、 7-Mode Transition Tool （ 7MTT ）から提供された LUN シリアル番号に基づいて、 RDM ディスクを VM に再接続します。

- コピーベースの移行の場合は、 7MTT でストレージカットオーバー処理を開始する前に以下の手順を実行します。
- コピーフリーの移行の場合は、 7MTT で 7-Mode システムのエクスポートおよび停止処理を開始する前に以下の手順を実行します。

手順

1. Inventory Assessment Workbook で、 * Host VM Disk Details * タブに移動します。
2. 「 * タイプ」列で、 PTRDM または NPTRDM を使用する ESXi ホスト VM を特定します。
3. VM 名、「 * Disk * 」列に表示されたディスクパスの詳細、および「 * Device Mapped * 」列に表示されている NAA ID をメモします。
4. 移行後に生成された 7MTT マッピングファイルにその NAA ID が記載されていることを確認します。
5. マッピングファイルの * LUN WWID * 列に対応する新しい NAA ID が NAA ID になっていることを確認します。

   これが新しい clustered Data ONTAP LUN NAA ID です。

6. clustered Data ONTAP LUN NAA ID を * lun WWID * 列に記載し、ディスクパスの詳細を使用して clustered Data ONTAP LUN を VM に再接続します。
   - 関連情報 *

vSphere Client を使用して古い RDM を削除する

vSphere Client を使用した RDM の VM への再接続

ESXi CLI / コンソールを使用した RDM の再接続

vSphere Client を使用して古い RDM を削除する

ONTAP 7-Mode から clustered Data ONTAP への移行時には、すべての RDM LUN が「古く」なります。移行後に LUN でデータの提供を開始するには、これらの RDM を削除して再接続する必要があります。

Inventory Assessment Workbook から RDM の VM 名とディスクパスを収集しておく必要があります。

手順

1. ESXi ホストまたは ESXi ホストを管理する vCenter Server を開きます。
2. VM を右クリックし、 * 設定の編集 * を選択します。

VM Properties ウィンドウが表示されます。

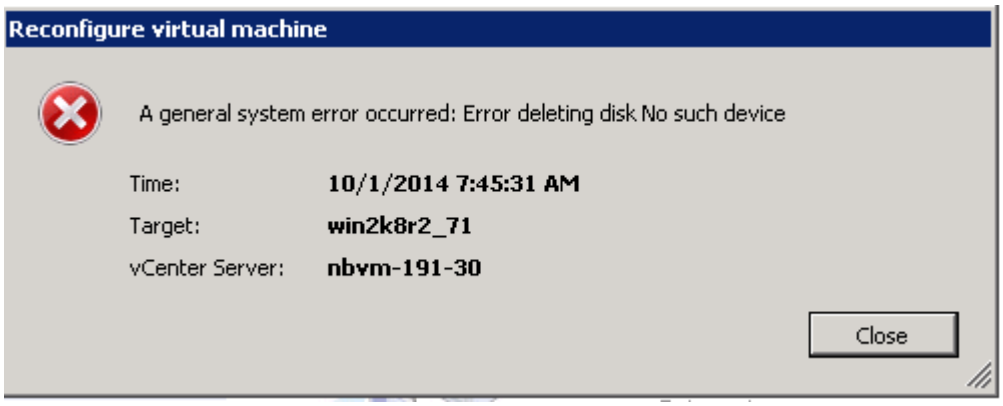
3. Inventory Assessment Workbook から収集したディスクパスを使用して、デバイスのリストからハードディスクを選択します。
4. [VM のプロパティ] ウィンドウで、仮想デバイスノード * と * 互換モード * をメモします。

   仮想デバイスノード： SCSI 0 ： 2

   互換モード： Physical

5. [削除（ Remove ）] をクリックします。
6. [仮想マシンから削除し、ディスクからファイルを削除する *] を選択します。
7. [OK] をクリックします。

   次のようなエラーメッセージが表示されます。このメッセージは無視してかまいません。



8. [* 閉じる *] をクリックします。

vSphere Client を使用した RDM の VM への再接続

7-Mode Transition Tool （ 7MTT ）を使用して ESXi ホストを移行したあとで、 RDM を仮想マシン（ VM ）に再接続する必要があります。

古い Raw デバイスマッピング（ RDM ）を削除しておく必要があります。

手順

1. ESXi ホストまたは ESXi ホストを管理する vCenter Server を開きます。
2. VM を右クリックし、 * 設定の編集 * を選択します。

   [VM のプロパティ] ウィンドウが開きます。

3. [追加（ Add ）] をクリックします。

   [ハードウェアの追加] ウィンドウが開きます。

4. [* ハードディスク *] をクリックします。

5. [次へ *] をクリックしてディスクを選択します。
6. 「 * Raw Device Mappings * 」を選択します。
7. ［ * 次へ * ］ をクリックして、ターゲット LUN を選択します。
8. 7MTT マッピングファイルからメモした新しい clustered Data ONTAP NAA ID の LUN を選択します。
9. 「 * 次へ * 」をクリックします。
10. [Select Datastore] を選択します。
11. 7MTT マッピングファイルでメモしたディスクパスと一致するデータストアを選択します。
12. 「 * 次へ * 」をクリックします。
13. [* 互換モード *] で [* 物理的 *] または [* 仮想 *] のいずれかを選択します。

    古い RDM を削除したときにメモした互換モードを選択します。

14. 「 * 次へ * 」をクリックします。
15. 「 * 詳細オプション * 」を選択します。
16. [仮想デバイスノード] を選択します。

    古い RDM を削除したときにメモした仮想デバイスモードを選択します。

17. 「 * 次へ * 」をクリックします。
18. [完了] をクリックして変更を送信します。
19. RDM が接続されているすべての VM について、上記の手順を繰り返します。
    - 関連情報 *

vSphere Client を使用して古い RDM を削除する

ESXi CLI / コンソールを使用した RDM の再接続

Data ONTAP 7-Mode から clustered Data ONTAP に移行したあとで、 Raw デバイスマッピング（ RDM ）を再接続する必要があります。

- Inventory Assessment Workbook の Disk 列に表示された RDM ディスクファイルを取得する必要があります。
- 新しい clustered Data ONTAP LUN NAA ID を 7MTT マッピングファイルから取得する必要があります。

手順

1. SSH を使用して ESXi コンソールにログインします。
2. mv コマンドを使用して、 RDM ディスクファイルおよび関連するデバイスファイルのバックアップを作成します。

   RDM ディスクファイルは、 _Inventory Assessment Workbook の Disk 列に表示されます。

   RDM ディスクファイルが「 /vmfs/volumes/53a3ac3d-df5aca03 -3a94-001ec9d631cb/vm2-win-bus -a /vm2-winbus-A.vmdk` 」の場合は、次のコマンドを問題します。

*MV/VMFS/volumes/53a3ac3d-df5aca03-3a94-001ec9d631cb/vm2-win-bus -A /vm2-winbus-A.vmdk/volumes/53a3ac3d-df5ac3a03-3a94-001ec9d62002-win*1-win-bus * バス

- 物理互換 RDM （ PTRDM ）の場合： +**MV_RDM_DISK_FILE_NAME -*rdmp.vmk _RDM_DISK_FILE_NAME* -rdmp.vmk _bak**

  例：

  MV/VMFS/volumes/53a3ac3d-df5aca03-3a94-001ec9d631cb/vm2-win-bus -a -rdmp.vmdk /volumes/53a3ac3d-df5ac3ac3ac3d-df5ac3a94-001ac31-win9be-win9d1-rdbath-dgas1-rdb-bus *

- 仮想互換 RDM （ NPTRDM ）の場合： +*MV_RDM_DISK_FILE_name -*rdmp.vmk _RDM_DISK_FILE_NAME* -rdmp.vdk_bak *

  例：

MV/VMFS/volumes/53a3ac3d-df5aca03-3a94-001ec9d631cb/vm2-win-bus -a -rdmp.vmdk /volumes/53a3ac3d-df5ac3ac3ac3d-df5ac3a94-001ac31-win9be-win9d1-rdbath-dgas1-rdb-bus *

3. 新しい clustered Data ONTAP LUN NAA ID と RDM ディスクファイルを使用して、 RDM 構成ファイルとデバイスファイルを再作成します。

   - PTRDM の場合： +`*# vmkfstools – z/vmfs/devices/disks/ *new_cluster_new_cluster_naa_ID*.vmdk *

     例：

     vmkfstools – z/VMFS/devices/disks/naa.600a098054314c6c442f79712313/vmfs/volumes/53a3ac3d-df5aca03-3a94-001ec9d631cb/vm2-win-buse-a2-win-bus-1-win-db.vmdk バス

   - NPTRDM の場合： +`*#vmkfstools – r/vmfs/devices/disks/*_new_cluster_200a— ONTAP_naa_ID*.vmdk *

     例：

vmkfstools – r/vmfs/devices/disks/naa.600a098054314c6c442f79712313/vmfs/volumes/53a3ac3d-df5aca03-3a94-001ec9d631cb/vm2-win-bus-a-win-bus-1-win-db.vmdk バス

4. 構成ファイルとポインタファイルが作成されたことを確認します。

   *#ls /vmfs/volumes/ データストア */vm_directory* *

   '*#ls /vmfs/volumes/53a3ac3d-df5aca03 -3a94-001ec9d631cb/VM2 -win-bus -a *

   新しい構成ファイルとポインタファイルは、 VM ディレクトリパスの下に表示されます。

5. RDM が接続されているすべての VM について、上記の手順を繰り返します。
6. ESXi ホストで hostd エージェントと vpxa エージェントを再起動します。

   /etc/init.d/hostd/restart

   */etc/init.d/vpxa/restart *

著作権に関する情報

Copyright © 2023 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。